



令和5年度



学校だより 1月号

自分大好き みんな大好きひとみかがやく西が岡の子

横浜市立西が岡小学校 泉区西が岡 3-12-11 TEL 814-3603

<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/nishigaoka/>



たくさんの植物に囲まれて

校長 佐藤 裕二

新しい年が始まりました。旧年中は、アフターコロナとして様々な取組が見直される中、本校の様々な教育活動にご理解ご協力をいただきまして、心より感謝申し上げます。引き続き、西が岡小学校の児童一人ひとりの安心・安全、そして健やかな成長のために、職員一同しっかりと支援してまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

本校は、住宅街に囲まれながらも、多くの植物が育つ豊かな教育環境の中にあります。それは、学校・地域コーディネーター、地域の方、そしてPTAの方々が継続的に環境維持活動に取り組んでくださるおかげです。子どもたちは、学校敷地内の様々な植物から季節を感じながら、毎日の学校生活を送ることができています。

本校の学校用務員は、環境整備の作業をしながら、時々、学校敷地内にある植物や発見した昆虫などの情報を、子どもたちに分かりやすく展示しています。今は、学校にある木の枝で作ったツリーを、解説とともに1階ホールに展示しています(写真)。イチョウ、ハクモクレン、クスノキ、サルスベリの4種類の枝が使われており、比べてみると、色の違いや表面の様子の違いがよく分かります。



ちなみに、七草がゆとして有名な“春の七草”「セリ、ナズナ(ペンペン草)、ゴギョウ(ハハコグサ)、ハコベラ(ハコベ)、ホトケノザ(タビラコ)、スズナ(カブ)、スズシロ(ダイコン)」について、学校用務員が学校敷地内を調べたところ、「ナズナ」「ゴギョウ」「ハコベラ」「スズシロ」の4種類が見つかったそうです。



令和6年(2024年)は、本校創立30周年です。すでにお知らせのとおり、創立30周年記念事業として、実行委員会を中心に様々な準備を進めています。ちなみに20周年記念キャラクターで使われたケヤキは、本校のシンボルとして校歌や校章にも使われています。また、本校にある木々は、開校当時、地域の方々の意見が取り入れられて、実のなる植物をたくさん植えられたと聞いています。創立30周年の今年、開校当時の地域の方々の学校への思い、そして30年間の学校の歴史を植物と一緒に感じられる、そんな1年間になればと願っています。